

大会名 Competition	第39回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-106	Year Month Day Time 2026 年 5 月 4 日 9 : 00
場所 Place	NODENアリーナ (能代総合体育館)

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB
桜	丘	福岡第一
64	●	77
	○	
	0 T	

主審:Crew chief
伊藤睦哲 岩手
副審:Umpire
遠田 亘 秋田
角田穂乃香 宮城
テーブルオフィシャル:Table officials
秋田県TO委員会

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
1	×	竹内 光一	cap	13	0	4	5	0	00		田中 柚稀		-	-	-	-	0
4	/	森 蒼心		5	1	1	0	0	1	/	富 啓翔		0	0	0	0	1
5	/	波多野 碧音		0	0	0	0	0	8		宮城 昊河		-	-	-	-	0
7	/	ブリス アルキサンダー		2	0	1	0	1	9	/	清水 空		6	2	0	0	1
11	×	小川 泰乃丞		4	0	2	0	3	11	/	山端 元陽		0	0	0	0	0
13	×	前田 晴舞		11	2	2	1	1	12	/	乙藤 睦拓		0	0	0	0	1
16	/	水野 良太郎		3	1	0	0	0	15	/	吉川 煌雅		0	0	0	0	0
18	/	森 奎都		0	0	0	0	0	16	×	ソップ ハンソ		10	2	2	0	5
19		佐藤 隼斗		-	-	-	-	0	17	×	ソップ デビシ		19	3	3	4	3
22	/	平澤 恵太		0	0	0	0	1	18	/	鈴木 遥輝		0	0	0	0	0
23	/	尾崎 夏希		0	0	0	0	0	22	×	卓 承賢		16	4	2	0	1
24		万江 駿汰		-	-	-	-	0	23	/	池田 虎太		0	0	0	0	0
31	/	竹内 海吏		0	0	0	0	0	31	/	鷹野 遼磨		0	0	0	0	0
32	×	竹本 虹輝		1	0	0	1	2	44	/	津田 来輝		2	0	1	0	0
33		刈ゲ 大允		-	-	-	-	0	45	×	ガイ マサンバ		13	0	6	1	1
34	/	水野 誠太郎		2	0	1	0	1	58	/	柴田 悠真		0	0	0	0	0
42	×	モハト マー		23	1	6	6	1	75	/	ジヨバ ヤヤ		2	0	1	0	0
51		大井 佑悟		-	-	-	-	0	76	×	南里 明玲	cap	9	1	3	0	0
コーチ		水越 悠太						0	コーチ		井手口 孝						0
アシ		山辺 正幸						0	アシ		原田 裕作						0
合計				64	5	17	13	10	合計				77	11	14	5	13

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P% イントシュート 2P:2P% イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking [Team]

1	23	35.94%	モハト マー
2	13	20.31%	竹内 光一
3	11	17.19%	前田 晴舞

1	19	24.68%	ソップ デビシ
2	16	20.78%	卓 承賢
3	13	16.88%	ガイ マサンバ

Score ranking [Game]

1	23	モハト マー	桜 丘	2	19	ソップ デビシ	福岡第一	3	16	卓 承賢	福岡第一
---	----	--------	-----	---	----	---------	------	---	----	------	------

1Qは序盤から両チームの留学生在が存在感を発揮する。桜丘#42マーがフェードアウェイで得点すると、福岡第一#45マサンバがフェイクからのドライブで取り返すなど、ペイントエリア周辺で見応えのある攻防を繰り広げる。福岡第一は、#16ソップ (ハ) がインサイドで得点するなど厳しいディフェンスから加点する。桜丘はフィールドゴールが止まるが、フリースローを決めて追いつく。終了間際に#17ソップ (デ) が3Pを決めた福岡第一が15-23とリードして1Q終了。

2Qは、桜丘#13前田がドライブや3Pで得点するだけでなく、リバウンドにも飛び込むなど目立った活躍を見せる。#1竹内もドライブで加点した桜丘が、4:59で福岡第一がタイムアウトを取るまでに29-31と1ゴール差まで詰める。その後は一進一退の展開となり33-36で前半終了。

3Q序盤は、前半と比べるとハイペースな展開となる。桜丘#42マーがリバウンドに得点にと大車輪の活躍を見せるが、福岡第一は逆転を許さない。43-45となったところから福岡第一はディフェンスの圧力をさらに強める。桜丘が対応に困っているうちに福岡第一は#22卓などの得点で46-61まで離して3Q終了。

4Q、福岡第一#76南里の外角のシュート、桜丘#13前田の3Pなどで点差を保ったまま試合が進む。その後も両チームともにメンバーチェンジを繰り返し、64-77で試合終了。福岡第一がこの一戦を制した。